

合言葉
やる気
がんばり
思いやり



R4-10号
令和4年12月発行
宇都宮市立豊郷北小学校
校長 麦倉 克英
028-665-0205



<http://www.ueis.ed.jp/school/toyosato-n/>
学校の様子はホームページから

12月の人権週間に関連させて

法務省は人権週を12月4日から10日までと定めています。それを受けて、本校では12月5日から16日の12日間を校内人権週間と位置付けました。

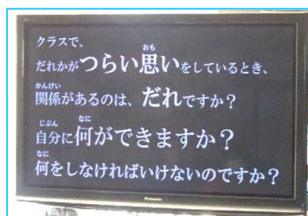
一言で「人権」と言っても大人でも定義が難しく、まして、小学生に「人権を守りましょう」と伝えても説得が容易ではありません。そこで、もう少し易しい言葉に置き換えるとなると、人としてどう生活すべきなのか、子供同士どう接するべきなのか、という日常的な倫理行動を説く方が、子供には有用だと思います。

また、子供に「人権感覚をもつように」と言っても無理があるかもしれません。当然、発達の段階によっては若干理解できる子供もいると思います。しかし、むしろ、はかない人の命は大切にしないではいけなく、更には動物の命も大切にということから説くべきでしょうし、自分が嫌なことを人にもしてはいけなくなどと諭することが大切ではないでしょうか。学校でもご家庭でも大人が子供に対して今のうちからしっかり意識させることが必要だと考えます。それが今後の健全な成長につながるのだと信じ、根気強く指導していきたいと思います。

さて、ここでは本校人権週間で取り組んだ一端を紹介します。

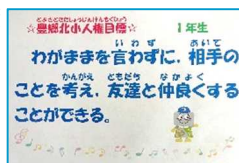
(2) 人権集会

朝の時間を活用し、実行委員の5、6年生が校内テレビ放送で絵本『わたしのせいじゃない』の読み聞かせを行いました。いじめが原因で男の子は泣いていますが、他の子どもたちは他人事で済ませようとする内容です。この話を聞いて、児童は何を感じ、考えたかをしっかり振り返ってほしいと思います。



(3) 豊郷北小人権目標の掲示

学年に応じて設定した目標を教室の前面に掲示し、必要に応じて確認したり振り返りができたりするようにしました。



(4) 人権に関する絵本の設置

図書館に特設コーナーを設け、教員や児童が読めるようにしました。心を耕す本ばかりです。



(1) 校内研究授業（道徳）

相手に対して気持ちよい言葉遣いをしようとする態度を養うことをねらいとした授業を2学年担任から提案してもらい、教員で研修しました。ねらいに迫るために、授業者はどのような言葉を投げ掛ければよいのか、更に工夫する方法はないかなどについて意見を交わしました。各教員の道徳授業の改善につなげたいと思います。



(5) ありがとうの木を育てよう

友達の良い行いや頑張っている様子などをカードに書いて投書箱に入れ、それを実行委員会がいくつか取り上げ昼の校内放送で読み上げました。児童が心を込めて書いた全てのカード（337枚）は昇降口の特設掲示板に貼りました。登校直後や休み時間などに立ち止まって見る児童がたくさんいました。



最後まで諦めずに前へ

11月22日（火）

第49回宇都宮市小学校陸上競技大会が県総合運動公園第2陸上競技場で行われました。コロナ禍で中止にしていたため、3年ぶりの開催となります。市内の小学校を4つのブロックに分けて、記録に挑戦しました。



本校からは5、6年生15名が選手として参加しました。各自少しでも記録を伸ばそうと力を出し切りました。

放課後を使って練習会を行ってききましたが、今回選手として選ばれなかった児童も最後の練習までよく取り組んだと思います。練習会に参加した全員にも拍手を送ります。

以下、本校出場のBブロックで入賞した児童と記録を紹介します。

100m	5年男子	第2位	小林 空遠さん	14秒74
11	6年女子	第3位	大久保幸香さん	14秒95
走り幅跳び	6年女子	第6位	室井 愛奈さん	318cm
走り高跳び	5年女子	第1位	荒木 来心さん	123cm

転んでも立ち上がり…

12月9日（金） 4年生

市内公立小学校4年生は、毎年城南にあるスケートセンターにて行われる特別教室に参加しています。

スケート靴に履き替えた後、個々のレベルに応じた指導を受けました。上手に滑ることができなくても根気強く挑戦する姿がたくさん見られました。

また、豊北っ子らしくお世話になった施設の方や指導者にしっかりとあいさつができました。





チャレンジ！フラワーアレンジメント

12月6日（火）6年生

地元のユリ生産者である小池一構さんをはじめ、フラワーショップ経営者、河内農業振興事務所及び県農業試験場の園芸関係者、JA うつのみや園芸課などから講師7名をお招きし、「花育」の特別授業を行いました。「花育」とは、花や緑に親しみ、育てる機会をととして、優しさや美しさを感じる気持ちを育むことです。

かつては、豊北文化祭で行っていましたが3年前から6年生を対象に地域と学校が連携した特別授業として実施しています。

例年同様に、花の説明やアレンジの仕方の指導はフラワーショップ「花いちもんめ」代表の高橋裕子さんが担当です。頻りに児童の傍に行きよくできている所を褒めてくださいました。そのお陰で全員が時間内に完成し、オリジナル作品を家に持ち帰ることができました。

持ち帰ってきた花をご覧になりご家族はどのような気持ちになったでしょうか。明るく、そして温かくなった方が多いと思います。花が有する効果は大きいと考えます。

最後に、児童の感想の一部を紹介します。



○「私は文化祭でやったけど、その時よりも花の種類が多く、自分で切って、考えて、一人でオリジナルのフラワーアレンジメントを作って楽しかったです。どこから見てもきれいにできるようにすることや、色の組み合わせを考えて作ることがむずかしかったです。でも、回しながら作ってきれいなアレンジメントができました。機会があったらまた作りたいと思いました。」

○「聞いたことのないたくさんの花の名前を知ることができました。一つの花を目立たせるために、他の花の配置の場所や高さを考えながらオアシスにさすことができました。前から見ても横から見ても美しく見えるように花のさし方を工夫し、見る場所を変えるだけで印象が変わるのがすごいと思いました。これからもたくさんの花に出会ってみたいと思いました。」



ふれあい文化教室で演奏体験

うつのみや文化創造財団は宇都宮市文化協会との協働で文化芸術講師派遣事業「ふれあい文化教室」を行っています。この度、6、5年生が参加しました。

琴、尺八の調べ

12月8日（木）6年生

生田流箏曲家師範含め終美会会員の方4名、琴古流尺八演奏家として竹峰会会員の方1名が来校されました。はじめに、「六段（三曲合奏）」、「春の海」、季節に合ったクリスマスソングを鑑賞しました。

その後、琴や尺八の演奏体験をしました。尺八は音を出すのが難しそうでしたが、中にはいい音を出す児童もいました。琴は「さくらさくら」を演奏しました。

普段は和の音を聞く機会が少ないので、新鮮な気持ちで学習できたと思います。



和太鼓の響き

12月15日（木）5年生

宇都宮和太鼓四面会に所属し、「和太鼓キッズゆりかご」の指導に当たっている奏者1名が講師として来校され、太鼓の魅力を伝えてくださいました。太鼓のバチの持ち方や打ち方を教えてもらい、それぞれ音を出す体験をしました。後半には全員で合奏することもできました。

また、業間には本校で和太鼓を習っている児童2名と講師が模範演奏会を開き、多くの児童に披露しました。



花壇も新年に向けて模様替え

農業ボランティアとしてご支援いただいている五月女正典様から、パンジー、ピオラ、ハボタンを購入し、環境委員会の児童が花壇に植えました。ますます寒い時期を迎えますが、花壇は華やかでいる感じがします。気持ちがほっとする場所の一つになっています。



御 礼

ニュー富士見ヶ丘自治会長及び見守りボランティアとしてご支援いただいている首藤慎二様から、手作りの木工作品14体を寄贈していただきました。「親子の絆」と題した動物たちです。早速、2階廊下に展示コーナーを設け、児童に触れてもらっています。全作品はホームページ（11/18付）で紹介していますので、ぜひご覧ください。



2022年も残すところ僅かとなりました。ぜひ親子で1年間を振り返り、お子様が成長したところを認め、新年につながるよう励ましていただきたいと思います。

また、学校へご支援いただきました多くの皆様に感謝申し上げます。

よいお年をお迎えください
I wish you a Happy New Year.

